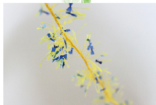


浮音模様

ゆるおと
ふるえるおと



美術
かなもりゆうこ

箏
松澤佑紗

グンデル
やぶくみこ

「浮音模様」は、やぶくみこ・かなもりゆうこによる音楽と美術の催し。

今回は、しなやかな感性をもつ若手箏曲家の松澤佑紗とともに

三井寺の僧坊のひとつであった「ながらの座・座」にて

コンサートと美術、そしてささやかな茶事の時間をつくりだします。

空間に音が浮かんで溶けてゆくようにひろがる、やぶくみこのグンデル。

清明で空気の隅々にまで浸透するような、松澤佑紗の箏の音。

かなもりゆうこが自由な練習帖として作ったリボンや、紙片がひそやかに遊ぶ…。

3人の手から紡ぎ出される世界が、古庭園をのぞむ書院とつづきの広間で響き合います。

2016.10.12wed - 16sun

ながらの座・座



やぶくみ(1) Kuniko Yabu
作曲家／打楽器演奏家。1982年岸和田生まれ。京都在住。2010年英国ヨーク大学大学院修士(コミュニケーションミュージック)。ジャワガムランを中心に様々な楽器を用い、本来持つ響きや音色、演奏する空間を生かした作品を提示。近作にワークショップ参加者と共同作曲した「きく、つかむ、はなつ」(鳥取ホスピタイル)、宮沢賢治作／平田オリザ演出「ロボット版銀河鉄道の夜」では音楽全編をジャワガムランで作曲。グンデルによるソロ曲を収録したCD「星空の音楽会」を発表。京都にて、即興をベースにしたガムラングループ「スカルグンティス」を主宰している。

松澤佑紗

Yusa Matsuzawa

ゲスト

箏道家。1990年生まれ。滋賀県出身。

東京藝術大学大学院修士修了。卒業時、代表生徒として宮内庁主催御前演奏会出演(於：皇居桃華樂堂)。IMF世界銀行総会、外務省日露青年交流事業日本代表として選出・派遣される。2015年より世界経済フォーラム(通称ダボス会議)グローバルシェイパーズに選出されるなど東京を拠点として国内外問わず活躍。箏の演奏で参加した映画に、深田晃司監督「淵に立つ」(10月全国ロードショー)。また、現代音楽家との楽曲や即興の共演も。柔軟で豊かな感性を持ち、美しく研ぎ澄まされた音色を奏でる、新しい世代の邦楽家。



かなもりゆづり Yuko Kanamori

美術作家。1968年神戸生まれ。京都在住。

身近な身体や事物と関わりながら、映像や様々な素材を用い、インスタレーションを中心に作品を発表している。近作に「Memoriae——メモリエ」、映像作品「手の物語」、パフォーマンス演出に「失われた鳥への到着の仕方」「What is the Name of This Book?」「Paper Lovers」など。

今回は、作品の残布・残糸を使用した日々の手遊びとしての紐状のドロ잉ング(コルデア)のシリーズを主に用いる。また、宣伝美術・茶事・衣装など、アートディレクションも。